

# みやけの風

## 第 207 号

平成 17 年 (2005 年) 1 月 22 日 (土) 発行  
 発行：三宅島災害・東京ボランティア支援センター  
 発行責任者：上原 泰男  
 東京都新宿区神楽河岸 1-1 セントラルプラザ 10 階  
 東京ボランティア・市民活動センター 気付  
 TEL：03-3260-7573 FAX：03-5229-1646  
 E-mail：tokyocenter@cmpo.org

村広報にお知らせを入れて4日。島に帰った時に、ボランティアの方たちに家の片付けの手伝いをしてほしい、という声がすでに10件寄せられています。中には、4年半もの間、一度も自分では島に行けなかった人もいます。家のことのお手伝いはもちろんするけど、島の人とゆっくりお話もしたい。と、ボランティアに来る予定の方たちは思っているようですよ。

### みんなの声

#### いま、わたしたちに、できること。2005

阪神・淡路大震災から、10年の時が流れた。そして今年もまた、東京災害ボランティアネットワーク主催による、東京国際フォーラムで1.17の灯りがともされて、数多くの犠牲者に追悼の念を捧げた。

当日は生憎の雨模様。せっかく出された展示のテント、体験コーナー等災害に関連した各コーナーを足早に見学を済ませた。舞台上は、とても素敵なハーモニーのコーラス。素敵な音色で響くハンドベルも凄く印象に残った。そのどれもが心から被災地阪神淡路へ届けとばかりの力強い応援メッセージのように感じた。この応援こそがどんなに被災者に勇気づけられたことだろうか。

自分も当事者になった今、全国からの力強い応援に、ありがたいほど、勇気づけられたことか。小さいことでも良い、とにかく自分たちに関心を持ってくれて、一言でも良いから声をかけてもらえる。それだけで一人ではないきっと困った時には、この方々が、絶対支えてくれる。そう思えた時、自分は気が楽になったのを思い出す。

不幸中の幸い、阪神・淡路の災害から生まれた東京災害ボランティアネットワークによって、今私たちはいろいろな角度からご支援していただいている。帰島を目の前にして、まだまだ難問のある私たちに、帰る者、帰らない者の今後を案じて、これからの二年間の見守りも想定して下さるとのことに心から感謝している。そして私も、今自分に出来ることは何かを考えたい。自分なりの回答は、阪神・淡路の体験から私たちが救われたように、この体験を次の世代に伝えることや、これから何処かで、何らかの災害等に会った時、今の自分たちの苦

労をちょっとでも役立てて、この苦しみを味あわないような体制に環境を整える架け橋になれるよう努力することが私に出来ることかなと思っている。

日頃簡単に言っている「ボランティア」。この言葉の陰には凄く沢山の物が詰まっている。「心、体力、実行力、知識、包容力」等々と数え切れない物を持ち合わせた方々だと思ふ。凄く重みのある言葉だとこの頃実感している。

私も多くの人に触れて、みんなのすばらしいところを、ちょっとだけずつでももらって島へ帰って、島民同士のコミュニケーションに役立てて、お互いが向上しあって皆で住みよい島作りが出来たら嬉しいなあとも思っている。

阪神淡路の震災から10年、あれだけに立ち直れた人間の凄さも見習って、私たちも出来ることからぼちぼちと小さな輪から大きな輪へと広がっていくことを楽しみにして行こうと思っている。

(港区港南 早川マス子)

### アカコッコ神戸へ行く

震災10年となる神戸で記念コンサートに出演させていただき、これまでの言い尽くせないご支援に感謝の気持ちでいっぱいでした。

今回は、帰島の準備等で9名の参加でしたが、それぞれの方が自然と役割を持ち、とてもいいチームワークで、達成感のあったコンサートでした。

私たちは、山本郁夫先生作詞作曲の『須磨の子守唄』を、神戸の子ども達と歌い、その後、『三宅島音頭』を着物姿で踊りました。

打ち上げの会では、参加者全員から激励を受け、神戸を後にしました。

しばらくの間、島民合唱団アカコッコは活動をお休みしますが、いつの日にか、音楽を通じて

知り合えた仲間と、島でコンサートができるように、目標を持ちがんばりたいを思っています。  
(立川市 肥後玲子)

### 桐ヶ丘忘年の集いレポート

『北区から三宅島へ激励、そして、島民感謝の集い』と正面に横断幕をかがげ、避難4年5ヶ月、大変お世話になった、北区花川区長(代理)をはじめ、北区社協、桐ヶ丘自治会、区会議長、議員、警察署、消防署、学校、その他地域関係者と桐ヶ丘島民約100名の参加で、北区桐ヶ丘ボランティア会2階にて、最後となる忘年の集いが行われた。

浅沼惇会長に続き、花川区長代理、大畑区議会議長が挨拶、磯自治会長の乾杯で和やかな懇親会となりました。

前日から、島民が支度した郷土料理、赤芽

いもの煮付け、トン汁、あしたばの天ぷら・ゴマ和え、新島から取り寄せたムロのクサヤ等、参加者全員、舌鼓つつみで喜ばれ、好評を博した。第二部カラオケタイムでは、坪田の筑波喜由さんの島節、田村安太郎さんの木遣を聞いて、島民の中にはふるさとを思い出し、涙を浮かべるシーンもありましたが、楽しい一刻を過ごすことが出来ました。

いよいよ2月には避難指示が解除されますが、帰る人、帰れない人、それぞれ色々事情はあるにしろ、複雑な思いで年を越し、正月を迎えたことでしょう。

『新生ふるさと三宅島』に向かって、頑張ろう!!

(北区桐ヶ丘ボランティア会事務局長 有馬 正美)

### 三宅島災害・東京ボランティア支援センターより

いよいよ、三宅島の避難指示解除の日まで、あと2週間あまりとなってきました。

『みやけの風』では、今後も毎週1回土曜日の発行を続けていくことにいたしました。内容も、しばらくの間島と島外で離れて暮す島民を繋ぐ風として、変らずご愛読いただけるよう工夫していくことにしております。今後、移転や帰島で電話番号が変わられる方は、必ず事務局までご連絡いただけるよう、お願いしたいと存じます。また三宅島へ帰られてから、新たにFAX配信を希望される方も、ご遠慮なくお問合せください。

三宅島災害・東京ボランティア支援センター事務局  
TEL: 03-3260-7573 FAX: 03-5229-1646

### 三宅島での求人情報!

東京電力三宅島事務所の社員食堂では、三宅島の島民の方で、調理師・調理補助をしてくださる方を募集しています。詳しくは、下記をお確かめの上、お問合せください。

事業所名：株式会社 萬惣食品(マンソウシヨクヒン)

職 種：調理師・調理補助(パート) 採用人数：3~6人

年 齢：55歳くらいまで

雇用期間：平成17年4月ごろより応相談

就業場所：三宅島三宅村伊豆991 東京電力(株)三宅島事務所内食堂

仕事の内容：東京電力の社員給食

免許・資格：自動車免許・調理経験者尚可、調理師免許所持者優遇

就業時間： 6:30 ~ 8:30

10:30 ~ 13:30

16:30 ~ 19:30

(時間応相談、6:30~19:30のうち、5時間程度)

基本給：時給800円~1,000円

通勤手当：ガソリン代 当社規定

面接日時：随時TEL後、決定 必ず写真付きの履歴書をお持ちください

面接場所：本社(JR田町より徒歩3分)港区芝浦3-14-21

お問合せ：(株)萬惣食品 総務部 中谷優子 TEL: 03-3451-3821